

令和7年度地域公共交通バリア解消促進等事業
(バリアフリー化設備等整備事業)
「近鉄生駒線南生駒駅(奈良県生駒市)生活交通改善事業計画」(案)

1. 事業の目的・必要性

南生駒駅は1日当たりの利用者数が4,578人であり、バリアフリーの基本方針に掲げられた整備目標である1日当たりの利用者数が「3,000人以上の駅」(令和7年度までに、原則としてすべて)における「段差の解消」等を実施する必要がある

2. 事業の定量的な目標及び効果

南生駒駅において、上下線各ホーム計2カ所で公共用通路までの「段差解消」により移動円滑化経路の2ルートを整備し、駅構内に「障がい者対応型トイレ」を設置することで、1日4,578人の利用がある駅での移動及び利用に係る安全性の向上が図られる。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

(事業内容)

- ・ 構外スロープ新設、誘導・警告ブロックの整備、障がい者対応型トイレ1ヶ所を設置、券売機蹴込み改良、誘導チャイムの設置、触知案内図の設置、点字運賃表の設置

(事業者)

- ・ 近畿日本鉄道(株)

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担割合

総事業費 346,200千円

【事業費内訳】

負担者	負担額	負担割合
国(近畿運輸局)	115,400 千円	33.3%
奈良県	37,000 千円	10.7%
生駒市	37,000 千円	10.7%
近畿日本鉄道(株)	156,800 千円	45.3%

5. 計画期間

- ・ 令和7年度(建築確認申請、支障物撤去)、令和8年度(施工)(2カ年)
- ・ 工事内容(スロープ整備工事、関連附帯工事等)
- ・ 工事期間(令和7年7月～令和9年3月)